

Luxury Hemp Textile majotae 事業継承に関するお知らせ



このたび、株式会社 HOSOO（本社：京都市中京区）は、エイベックス・エンタテインメント株式会社（本社：東京都港区）が展開するラグジュアリーヘンプテキスタイルブランド「majotae」ブランド事業を継承する運びとなりました。

「majotae」ブランド事業は、2025年10月1日をもって株式会社 HOSOO に完全移行いたします。

本件は、日本において1万年以上の歴史を持つヘンプを、現代のテクノロジーを用いてデイリーに使用できるテキスタイル製品へと昇華させる「majotae」ブランドは、エイベックス・エンタテインメント株式会社が2010年より、約15年に及び、研究・開発に取り組まれてきました。

その多大なる研究の成果を受け継ぎ、HOSOO のノウハウと流通ネットワークを活用することによって、日本発のラグジュアリーテキスタイルとしての将来性を最大限に生かし、国内外のマーケットにおける更なる成長と発展を目指したものです。

今回の事業継承の背景には、深いストーリーがあります。

HOSOO は、1200年の歴史を背景を持つ西陣織を代々受け継ぎ、絹織物において高い専門性を有しています。古来より、日本では神に捧げる布として二つの素材が用いられていました。それが、「絹」と「麻」であり、両者は日本文化における二大繊維の起源を象徴しています。

絹は「和妙（にぎたえ）」、麻は「荒妙（あらたえ）」と呼ばれ、麻は1万年以上前から、絹は2000年前から使用されてきました。ともに非常に長い歴史と神聖な意味を持ち、実際に伊勢神宮の「神御衣祭」では、現在も荒妙（麻布）と和妙（絹布）が奉られています。

HOSOO では、日本においてシルクと並び長い歴史と文化的意義を持つヘンプをポートフォリオに加えるこ

とによって、伝統と革新を融合したさらに強固なラグジュアリーテキスタイルカンパニーへと進化することを目指します。

尚、「majotae」ブランドで現在展開中の約30種類のヘンプテキスタイルコレクションにつきましては、すでに移管準備は整っており、既存のお客様に対しても販売を中断することなく継続販売いたします。

一部展開しておりましたプロダクトについては、リブランディングののち、HOSOOブランドの一環として、来年以降新規ローンチを予定しております。

Majotae ブランドについて

日本人が古くから使い続けてきた素材「大麻布（ヘンプ）」が本来持つ風合いを、現代の技術を駆使して甦らせたブランドです。手触りが硬い、ザラザラするといった、一般的に流通しているヘンプのイメージを覆す、シルクのような肌触りと、コットンのような柔らかさをあわせ持つ風合いを実現している点が「majotae」最大の特長です。2011年にプロジェクトを開始して以降、江戸時代の大麻布の制作工程を徹底的に研究し、様々な手作業の工程を、最新の技術やノウハウに置き換え機械化することで紡績効率を上げ、100%の大麻繊維を機械で織ることに成功し、今までは、19世紀以前の手法である、手績みによる糸と、手機でしか織ることができなかった、極上のテクスチャーを持つファブリックが実現しています。



株式会社 HOSOO について

HOSOO は元禄元年(1688年)、京都西陣において大寺院御用達の織屋として創業しました。京都の先染め織物である西陣織は1200年前より貴族をはじめ、武士階級、さらには裕福な町人達の圧倒的な支持を受けて育まれてきました。HOSOOは今、帯やきものといった伝統的な西陣織の技術を継承しながら、革新的な技術とタイムレスなデザイン感性を加えることによって、唯一無二のテキスタイルを生み出し、国内外のラグジュアリーマーケットに向けて展開しています。

www.hosoo.co.jp | IG: [hosoo_official](https://www.instagram.com/hosoo_official)



お問い合わせ先：info@hosoo.co.jp
株式会社 HOSOO www.hosoo.co.jp